

# 巣 歩いてまちを奇麗に 鴻 シルバー人材センター「クリーンウォーク」



ごみ袋などを手に出発する皆さん

鴻巣市シルバー人材センターの会員が11月26日に鴻巣・川里地区と吹上地区の2か所に分かれ、「クリーンウォーク」を実施しました。同センターは、働くことを通じて生きがいを得ると共に地域社会に貢献するという理念があり、

歩きながらごみを拾うクリーンウォークを行っています。まちを奇麗にするだけでなく、センターの普及啓発活動も兼ねており、この日ものほり旗を掲げながらごみ拾いを行いました。

鴻巣・川里地域を担当する会員たちは、せせら

ぎ公園からスタートし、鴻巣駅東口で折り返して免許センター通りを歩きます。吹上地区は吹上支所から始め、吹上ワークプラザ周辺で清掃活動しました。

鴻巣・川里地域には並木正年市長も参加。「皆さんと一緒にコミュニケーションが取れることはもちろん、歩くこと、『この歩道は、段差があつて危険だな』『この街路樹は枝が伸びているな』など、気づくことがありました」と話します。

人形町の男性参加者、大木さんは「普段は小学校の用務員をしています。仕事には生きがいを感ずります。またこうして仲間の皆さんに会うと励みにもなります」と話しました。

市内の緑化の仕事をしているという70歳男性の平岩さんは、「まだまだ元気で頑張っています。久しぶりに仲間にも会い、コミュニケーションも取れました」と笑顔を見せました。

清掃活動終了後、同センターの職員は「たほの吸い殻、マスク、空き缶、ペットボトルなど、45袋のごみ袋で2袋ほど集まりました。お疲れさまでした。なかなか終息を迎えましょう」とあいさつしました。

が、体力を付け、感染症に努め、笑顔でお正月を迎えよう」とあいさつしました。

【埼玉中央よみうり 2022年12月2日号掲載】